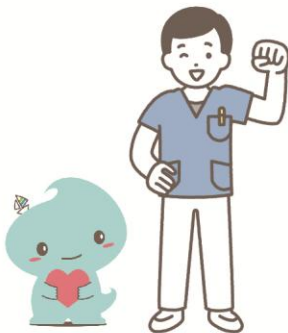




第2期

横須賀市 がん対策推進計画



令和7年(2025年)3月
横須賀市



基本理念

がんを知り、がんと共生し、がんの克服を目指す
「誰も一人にさせないまち」の実現

目指すべき姿と役割

横須賀市・医療従事者・市民が手を取り合って、
すべての市民ががんとともに生きていく人とその家族の状況を理解し、
互いに助け合う、誰もが安心して自分らしく暮らせるまち よこすか

医療従事者

- ・がん医療の推進・がんによる死亡の減少
- ・がんと診断された患者やその家族に寄り添う
- ・多職種が連携してその人らしい生き方を支援する

横須賀市民

- ・がんに対する必要な知識を持ち、実践できるがん予防に取り組む
- ・自身の体に関心を持ち、生活習慣の改善に取り組む
- ・定期的な検診受診

横須賀市

- ・がんを予防する生活習慣の推進
- ・がん検診の普及啓発
- ・年代に応じたがん教育
- ・がんとともに生きていく人とその家族が住み慣れた家で暮らしていけるまちづくり

分野別目標

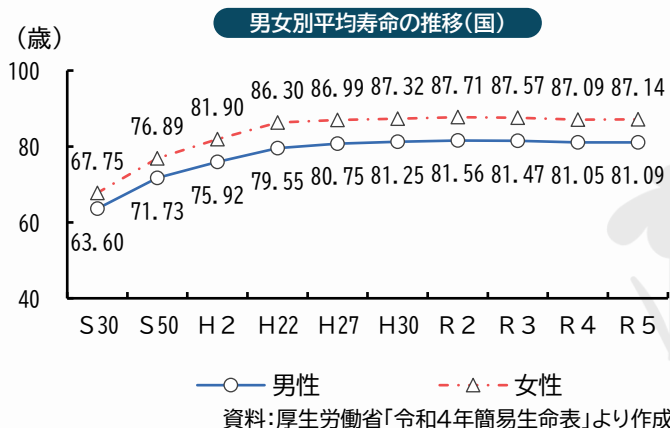
- ① がん予防の推進 ～予防できるがんを防ぐために～
- ② がんの2次予防(がん検診) ～がんの早期発見・早期治療につなげるために～
- ③ がん医療 ～がん医療の質と安全の確保のために～
- ④ がんとの共生(がんとともに生きる人への支援) ～社会生活を続けるために～

横須賀市のがんを取り巻く現状(統計)

○ 横須賀市の人口は、令和6年(2024年)4月1日現在、381,052人で、高齢化率は年々高くなっています。また国の統計によると、日本人の平均寿命は、令和5年時点で男性は81.09年、女性は87.14年となっており、日本は世界有数の長寿国になっています。

○ 平均寿命の延伸に伴い、がんになり患する人が増えました。今では、日本人の2人に1人は生涯で一度はがんになり患するといわれます。また医療が進歩し、他の疾患で命を落とす人が減ったこともあり、がんは昭和56年(1981年)以降、我が国の死因の第1位となっています。

○ 一方で国を挙げてのがん対策が進み、がんは「治療できる病気」になりつつあります。ステージⅠの段階でがんを発見できた場合の5年相対生存率は、平均で8割以上になりました。適切な生活習慣の継続と、予防接種等によるがん予防、定期的ながん検診によるがんの早期発見・早期治療がとても大切です。

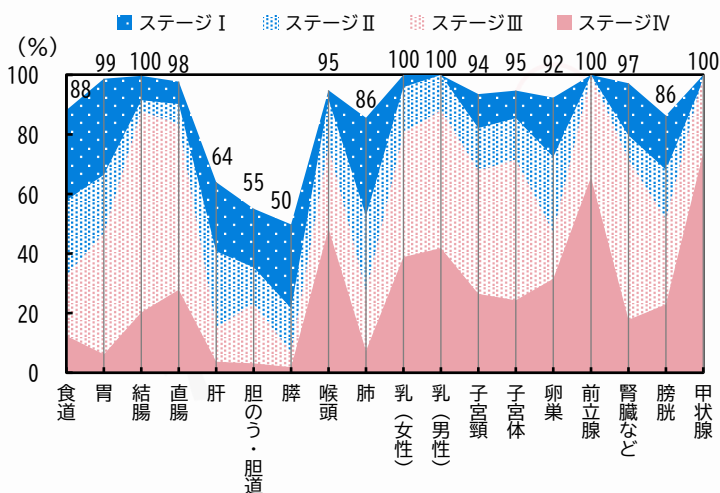


死因順位別死亡数及び死亡率(人口10万対)・構成割合(国)【令和4年】

死因順位	死因	死亡数(人)	死亡率	死亡割合(%)
1	悪性新生物(腫瘍)	385,797	316.1	24.6
2	心疾患 (高血圧性を除く)	232,964	190.9	14.8
3	老衰	179,529	147.1	11.4
4	脳血管疾患	107,481	88.1	6.9
5	肺炎	74,013	60.7	4.7

資料:厚生労働省「令和4年(2022年)人口動態統計(確定数)の概況」より作成

全がん協部位別臨床病期別5年相対生存率(2011-2013年診断症例)



施策体系

[基本理念]

[大柱]

[中柱]

がんを知り、がんと共に生き、がんの克服を目指す
「誰も一人にさせないまち」の実現

1 がん予防の推進

(1) 生活習慣からのがん予防

(2) 感染予防からのがん予防

2 がんの2次予防 (がん検診)

(1) がん検診

(2) 市のがん検診

(3) 精密検査

3 がん医療

(1) がん診療連携拠点病院等を中心とした
がん医療提供体制等

(2) 希少がん・難治性がん対策

(3) 小児及びAYA世代のがん対策

(4) 高齢者のがん対策

(5) がん登録の推進

(6) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の
速やかな医療実装

4 がんとの共生 (がんとともに 生きる人への支援)

(1) がん患者及びその家族等への支援

(2) 就労を含めた社会的な問題への対策

(3) ライフステージに応じた支援

(4) 緩和ケアの人材育成・普及啓発

(5) がんに対する理解の促進

がん予防の推進

生活習慣からのがん予防

予防可能ながんのリスク因子としては、喫煙（受動喫煙を含む）、飲酒、食生活や運動等の生活習慣、ウイルスや細菌への感染など様々なものがありますが、中でも、喫煙とがんとの関係は明らかです。

国立がん研究センターによると、全国では男性のがんの43.4%、女性のがんの25.3%は、感染症や喫煙等の生活習慣が要因であると考えられています。

がんのリスクを高める生活習慣

- ・ 喫煙・受動喫煙
- ・ 肥満
- ・ 飲酒
- ・ 塩分摂取



がん予防に効果的な生活習慣

- ・ 野菜摂取
- ・ 適度な運動



感染予防からのがん予防

感染症を要因とするがんは、男性では喫煙に次いで2番目に、女性では1番目の要因となっています。特に、子宮頸がん、肝がん、成人T細胞白血病、胃がんは、その発症原因の多くがウイルスや細菌の感染によるものであり、感染予防が、がんの予防につながることを期待されます。

がんのリスク要因となる感染症

- ・ ヘリコバクター・ピロリ
- ・ ヒトパピローマウイルス(HPV)
- ・ 肝炎ウイルス
- ・ HTLV-1



○ ヘリコバクター・ピロリ

乳幼児期からのピロリ菌感染の長期化を防ぎ、胃がんになるリスクを低減するため、市では市民健診（40歳以上）の胃がんリスク検診に加え、中学2年生、20歳、30歳を対象としたピロリ菌対策事業も行っています。

年代に応じたピロリ菌対策

中学生2年生の
ピロリ菌対策事業

20歳・30歳の
胃がんリスク検診

40歳以降
市民健診
胃がんリスク検診

○ ヒトパピローマウイルス(HPV)

子宮頸がんの95%はHPVの持続的な感染が原因で、予防にはワクチンの接種とがん検診の受診が大切です。HPVワクチン接種券は中学1年生女子に送付され、接種により子宮頸がんの原因の50%から70%を防ぐことができます。



がんの2次予防(がん検診)

がん検診

定期的ながん検診によりがんの早期発見・早期治療ができれば、がんで亡くなる人を減少させることが可能です。

市では、胸部検診(肺がん検診と65歳以上の結核健診を兼ねた検診)、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、前立腺がん検診、そして胃がんリスク検診の6種類のがん検診を実施しています。

横須賀市が実施するがん検診等

種類	対象者	受診間隔	検査項目
胸部検診	40歳以上	年度に1回	問診、胸部エックス線検査
大腸がん検診	40歳以上	年度に1回	問診、便潜血検査
乳がん検診	40歳以上女性※3	隔年度に1回	問診、乳房エックス線検査(マンモグラフィ)
子宮頸がん検診	20歳以上※4	年度に1回	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診
前立腺がん検診	50歳以上	(注1)	問診、血液検査(P S A検査)
胃がんリスク検診	20歳・30歳※5 40歳以上	(注2)	問診 血液検査(パプシノゲン検査・ピロリ菌抗体検査)

※3：40歳の人へ検診クーポン券

※4：20歳の人へ検診クーポン券

※5：20歳・30歳の人へ受診券

(注1) ・平成27年度以降に受診していない人、またはA群は判定年度を含め、3年経過した翌年度以降受診可能

・B群は翌年度以降受診可能

・C群は専門医の経過観察終了後に受診可能

(注2) ・初回またはA群は判定年度を含め、5年経過した翌年度以降受診可能(2回まで)

・B群～E群は判定後受診不可

検診クーポン券・受診券の交付

子宮頸がん検診について20歳女性、乳がん検診について40歳女性を対象に、年度初めに検診クーポン券を送付しています。また、20歳・30歳の市民へ胃がんリスク検診の受診券を送付しています。



精密検査

早期で見つけれれば、がんは決して怖い病気ではありません。「精密検査が必要」と判定されたら早期がんを見つけられるチャンスと考え、自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも、精密検査を受けるようにしましょう。

精密検査は、地域がん診療連携拠点病院のほか、精密検査実施医療機関で受診することができます。

相談窓口



がんの相談窓口

がんの治療を受ける上での不安や悩み、療養生活、治療と仕事の両立等、がんに関する相談支援が適切に対応できるように、相談窓口が設けられています。

横須賀共済病院「がん相談支援センター」

https://ykh.kkr.or.jp/toku_gan/sodanshien.html

時 間：月曜日～金曜日 9：00～16：00

（祝祭日・年末年始（12/29～1/3）・創立記念日（3月第2週金曜日）は休み）

電 話：046-822-2710（代表）

まずはお電話で「がん相談について」とお話しください。原則予約制です。



衣笠病院 ホスピス・緩和 なんでも相談

<https://www.kinugasa.or.jp/palliative/consultation/>

毎月 第1・第3水曜日 9：00～11：30

電 話：046-852-1182（医療福祉相談室）



防がんマップ・がんサポートブック

がん患者や家族のがんに対する不安や疑問に適切に対応するため、がんに関する正しい知識の普及啓発や、分かりやすい情報を、インターネットやSNSを活用した広報など、世代に応じた方法で提供しています。

かながわのがん対策

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ganntaisaku-top.html>



防がんMAP 神奈川県版

県では、がん患者やその家族が、必要なときに正しい情報を入手できるツール「防がんMAP 神奈川県版」を公開しています。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/bouganmap-top.html>



神奈川県「がんサポートハンドブック」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ken-torikumi/sapohan.html>



医療機関案内



がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院

がん診療連携拠点病院・診療連携指定病院は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう配置されています。また、がんゲノム医療拠点病院・連携病院ではがん遺伝子パネル検査を受けることができます。

市内では、横須賀共済病院が、地域がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療連携病院の指定を受けており、横須賀、三浦地区のがん治療、がん患者への相談支援等において中心的な役割を果たしています。

横須賀共済病院「がん相談支援センター」

https://ykh.kkr.or.jp/toku_gan/sodanshien.html

住 所：横須賀市米が浜通1-16

時 間：月曜日～金曜日 9：00～16：00

（祝祭日・年末年始（12/29～1/3）・創立記念日（3月第2週金曜日）は休み）

電 話：046-822-2710（代表）

まずはお電話で「がん相談について」とお話しください。原則予約制です。



県立こども医療センター、国立がん研究センター中央病院

小児がんとは0歳から14歳の小児期発症のがんを言います。AYA世代とは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、主に、思春期（15歳から）から30歳代までの世代を指しています。

国や県では、患者数の少ない、小児がん、AYA世代のがんの相談窓口を国立がん研究センター電話相談、神奈川県立こども医療センター小児がんセンター等に設けています。

神奈川県立こども医療センター小児がんセンターホームページ

<https://kcmc.kanagawa-pho.jp/shounigancenter/>

住所：神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4

【小児がん相談支援室】

（小児がんセンター） （小児がん相談支援室）

<https://kcmc.kanagawa-pho.jp/shounigancenter/support/consultation.html>

時間：月曜日～金曜日 8：30～17：15（休診日を除く）

電話：045-711-2351（代表）「小児がんの相談です」とお伝えください。

E-mail：shounigan.1591@kanagawa-pho.jp（お急ぎの場合はお電話でお願いします）



国立がん研究センター中央病院 「AYA世代のがんについて」

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/AYA/index.html>

国立がん研究センター中央病院 がん相談専用電話

電 話：03-3547-5293 時 間：平日 9：00～12：00・13：00～16：00



補助金情報



ウィッグ購入費助成制度

市では、抗がん剤治療に伴う副作用から生じた脱毛症状によりウィッグが必要な人を対象にウィッグ購入費助成事業を行っています。

横須賀市ホームページ

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3135/kenshin/20240509.html>

民生局健康部健康管理支援課 電話：046-822-4307



にんようせい 妊孕性温存治療費助成制度

がん治療によってにんようせいが低下する場合があることから、受精卵、卵子、卵巣組織、精子を凍結保存するにんようせい妊孕性温存療法の費用の助成事業を行っています。

神奈川県ホームページ

「にんようせい妊孕性温存治療・温存後生殖補助医療について」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/ganntaisaku/ganchiryou/ninnyousei-jyosei.html>



小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児がんを含む小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、患児家庭の医療費の負担軽減を図るため、その医療費の自己負担分の一部を助成する制度があります。

神奈川県ホームページ

「神奈川県小児慢性特定疾病医療費助成制度」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/he8/cnt/f417255/index.html>



高額療養費制度

医療機関や薬局の窓口で支払った医療費が、1か月間で一定の金額(自己負担限度額)を超えた場合、申請により、その超えた金額の払い戻しを受けることができます。

【問合せ先】あなたの加入する公的医療保険の窓口

肝がん医療費助成

肝炎ウイルス検査結果が陽性の人、肝炎治療を行っている人を対象にした助成制度です。

神奈川県がん・疾病対策課 肝疾患担当

電話：045-210-4795

・「肝炎の初回精密検査・定期検査費用の助成」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/cnt/f7029/p1034831.html>

・「肝炎治療医療費助成制度」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/cnt/f7029/p1034791.html>



就労支援・患者会など



就労支援

がん患者の「仕事」と「治療」の両立を支援するための相談を行っています。

ハローワーク横須賀

<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-hellowork/list/hw-yokosuka.html>

開庁時間：8：30～17：15（土日祝日・年末年始を除く）

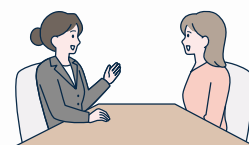
電話：046-824-8609（43＃）



ハローワーク横浜 長期療養者職業相談窓口

<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-hellowork/list/marumaru/tyouki-ryouyou.html>

電話：045-663-8609（48＃）



患者会・ピアサポート

【市内患者会】

がん患者、家族、遺族が集まり医療情報の交換や、悩み、家族のサポートなどについて語り合い、がんについての相談ができます。

NICO.Yokosuka

<https://www.instagram.com/nico.yokosuka/>

連絡先：鈴木

E-mail: nico.yokosuka.2525@gmail.com

乳がん患者会を、横須賀共済病院やみ～なの家で開催しています



よこすか・やすらぎの会

<https://yokosukayasuragi.jimdofree.com/>

連絡先 佐藤

電話：080-3007-6826

E-mail: kiyoe1947@gmail.com



その他の県内登録団体について、神奈川県「がんサポートハンドブック」に掲載しています。

→6ページに記載



【ピアサポート】

地域がん診療連携拠点病院である横須賀共済病院では、がん体験者の方が相談に応じるピアサポートを行っています。

横須賀共済病院「がん相談支援センター」

→6ページに記載



在宅医療と介護の連携



市では、医療と介護の両方を必要とする方が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療機関と介護事業所等の関係者(多職種)との協働・連携を推進することを目的とした体制づくりを進めています。

ほっとかん(福祉の総合相談窓口)

福祉の総合相談窓口を設け、子育て、生活の苦しさ、障害など困っていることや不安がいろいろあるけれど、どこへ相談にいったらわからない方の相談を受け付けています。窓口や電話相談以外にLINEでも相談を受けています。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2610/hottokan/hottokan.html>

時 間：8:30～17:00(土日祝日・年末年始を除く)

電 話：046-822-9613

FAX：046-827-8158

LINE

→二次元コードを読み取り友だち追加
('福祉'をタップしてください。)



(ほっとかん)



(LINE)

在宅緩和ケア(緩和ケア外来)

がんで入院する場合の平均入院日数はおよそ20日以内で、がんを通院で治療することが一般的になっています。緩和ケアについては、「がんと診断されたときから積極的治療と平行して実施されるべきもの」という認識になっており、外来で治療と緩和ケアを受けながら住み慣れた地域で暮らし続ける人が増えています。

【市内で緩和ケア外来のある病院】

横須賀共済病院「がん相談支援センター」 →6ページに記載

衣笠病院 緩和ケア外来

<https://www.kinugasa.or.jp/palliative/outpatient/>

住 所：横須賀市小矢部2-23-1

電 話：046-852-1182(代表)

FAX：046-852-1183

※緩和ケア外来受診をご希望の方は、かかりつけ医にご相談下さい。



緩和ケア病棟(ホスピス)

衣笠病院には緩和ケア病棟(ホスピス)もあり、ホスピスについてや緩和ケアについての相談窓口を設けています。

衣笠病院 ホスピス・緩和 なんでも相談

<https://www.kinugasa.or.jp/palliative/consultation/>

毎月 第1・第3水曜日 9:00～11:30

電 話：046-852-1182(医療福祉相談室)



在宅療養支援・その他の相談



歯科医師会・薬剤師会による支援

在宅歯科医療連携室（横須賀市歯科医師会）

歯科医院への通院が困難になった市民の方に、連携室が「仲介役」となり、訪問歯科診療を行っている地域に根差した歯科医院をご紹介します。

<http://www.yokosukashi-yda.or.jp/houmon/>

時 間：10：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

電 話：046-823-0022 FAX：046-823-0057

E-mail：zaitaku@yokosukashi-yda.or.jp



在宅支援薬局ネットワーク（横須賀市薬剤師会）

在宅療養をする患者さん宅へ訪問し、薬のお届け・管理をし、相談に乗る薬剤師がいる薬局のネットワークです。まず、ご利用の薬局に訪問可能かご相談ください。ホームページで訪問可能な薬局の一覧を見ることができます。

ホームページが見られない等でお困りの方薬剤師会にご相談ください。

<http://www.y-pa.or.jp/network/>

時 間：9：00～15：00（土日祝日・年末年始を除く）

電 話：046-823-8832 FAX：046-827-4559



こころの支援

市は、気持ちが落ち込む・眠れない、身近な人には話せないが誰かに話したい悩みを抱えている方のための相談窓口を設定しています。

横須賀市ホームページ こころの健康

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/kenko/kenko/kokoro/index.html>



横須賀こころの電話

電 話：046-^{やさしいダイヤル}830-^{こころよまるくな一}5407（匿名での相談が可能です）

受付時間 (年中無休)	平 日	16：00～23：00（第2水曜日は16：00～翌朝6：00）
	土日祝日	9：00～23：00

市の健診・がん検診等の問い合わせ先

横須賀市民生局健康部健康管理支援課

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/kenko/kenko/kenshin/index.html>

電 話：046-822-4307

時 間：8：30～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

横須賀市保健所 横須賀市健診センター（健診・検診予約専用）

住 所：横須賀市西逸見町1-38-11ウェルシティ市民プラザ（4階）

電 話：046-822-4351 FAX：046-822-4390

受付時間：9：00～12：00・13：00～16：00（土日祝日・年末年始を除く）



具体的な施策の索引

項目	該当 ページ	本編の ページ
あ行		
アピアランスケア		87
ウィッグ購入費助成事業	8	87
胃がんリスク検診	4・5	44・58
医科歯科連携	11	74・100
医療実装		81
飲酒	4	40
運動不足	4	42
HPVワクチン	4	50
HTLV-1	4	54
塩分摂取	4	41
か行		
がんゲノム医療		73
がんに関する相談支援	6	82
がんのリハビリテーション		75
がん患者団体	9	84
がん教育		103
がん検診	5	55
がん診療連携拠点病院・ 診療連携指定病院	7	71
がん対策推進企業アクション		106
がん対策推進計画専門部会		148
がん登録		81
緩和ケア	10	75・98
緩和ケア病棟	10	97
肝炎ウイルス	4	53
希少がん・難治性がん		77
喫煙・受動喫煙	4	39

項目	該当 ページ	本編の ページ
健康推進プランよこすか		37～42
検診クーポン券・受診券	5	61
県がん診療連携協議会		73
高齢者のがん		80・94
さ行		
在宅緩和ケア・在宅療養	10・11	99
支持療法		75
手術療法・放射線療法・ 薬物療法		73
就労支援	9	85
終末期支援		95
小児及びAYA世代のがん	7	78・92
小児慢性特定疾病医療費 助成制度	8	79
精神面のサポート	11	88
精密検査	5	66
た行		
チーム医療		74
地域包括ケアシステム		102
中学2年生のピロリ菌 対策事業	4	45
な行		
妊孕性温存療法	8	76
は行		
ヒトパピローマウイルス	4	50
肥満	4	41
ヘリコバクター・ピロリ	4	43
ほっとかん	10	91・ 94・101
や行		
野菜摂取	4	42
予防接種の再接種費用の 助成		79
ら行		
療養生活を支援する制度	10・11	90・100

より詳しい内容について知りたい方は
→ 第2期横須賀市がん対策推進計画



第2期横須賀市がん対策推進計画 概要版

〒238-0046 神奈川県横須賀市西逸見町1丁目38番地11

横須賀市 民生局健康部 健康管理支援課

TEL: 046-822-4307 FAX: 046-845-6871

E-mail: kenshin-hchp@city.yokosuka.kanagawa.jp

